

# 舟越

# 桂展



2003.10月31日[金]-12月7日[日]

森から来たささやき

- 休館日=月曜日、ただし、11月3日(月・祝)、11月24日(月・祝)は開館、11月4日(火)、11月25日(火)は休館
- 開館時間=火~全曜日(9:30~19:00) / 土・日曜日・祝日(9:30~17:00) 入室はいつでも閉館30分前まで / 初日は午前10時開展式
- 入場料 一般 600円(480円) 高大生 400円(320円) 小中生 200円(160円)
- ( )内は前売りおよび団体20名様以上の料金 前売りは美術館1階受付にて販売 ●会期中の土曜日は小・中・高生入場無料
- 65歳以上の高齢者(長寿手帳等が必要)・身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料
- 主催/高松市美術館 朝日新聞社 KSB瀬戸内海放送 企画協力/西村画廊

Takamatsu City Museum of Art  
**高松市美術館**  
 〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4  
 Tel.087-823-1711



《風をためて》1983年 栃木県立美術館蔵 撮影：落合高仁



《砂と街と》1986年 個人蔵 撮影：落合高仁



《遅い振り子》1992年 東京都現代美術館蔵 撮影：早川一

Katsura Funakoshi Works: 1980-2003

# 舟越 桂展

森から来たささやき

舟越桂は1951年盛岡に生まれ、東京藝術大学大学院を卒業後、1980年代はじめから現代に生きる人間像を等身大の木彫で制作し注目を集めるようになります。楠（くすのき）を素材とした半身像に彩色をほどこし、眼には大理石をはめ込んだその独自の木彫作品は、具象彫刻の新たな可能性を開くものとして現代美術界にさわやかな風を送りこみました。その後、ヴェネツィア・ビエンナーレ、サンパウロ・ビエンナーレといった海外の展覧会に日本代表のひとりとして参加するなど目覚ましい活躍を続け、国内外で高い評価を得るようになります。

本展は、初期から最新作までの代表的な木彫30数点に加え、作家の着想や制作行程を示すドローイング約20点により舟越桂の創作の軌跡をたどる初の本格的な回顧展です。人体表現の可能性、そして人間とは何か、という根源的な問題を一貫して追究しつづけてきた舟越桂の作品世界。その全貌と魅力に触れるまたとない機会です。



《雲の庭》1999年 鹿児島県 霧島アートの森蔵 撮影：内田芳孝



《水のソナタ》1996年 すみだトリフォニーホール(東京都 墨田区)蔵 撮影：内田芳孝



《支えられた記憶》2001年 金沢21世紀美術館(仮称)蔵 撮影：今井昌己

## 舟越 桂 講演会

- 11月1日(土)午後2時30分～4時/美術館1階講堂  
 入場無料、定員先着200名 当日昼12時より1階受付にて整理券配布

## ワークショップ「作品との対話/作者との対話」

- 11月1日(土)午前10時～11時、午後1時～2時(午前・午後通し)  
 対象:中学生～高校生(定員20名、応募者多数の場合は抽選)  
 申込方法:往復ハガキに氏名(フリガナ)・住所・電話番号・年齢・学校名・学年を書いて、760-0027高松市紺屋町10-4 高松市美術館 舟越桂ワークショップ係まで。締切10月19日(日)必着  
 内容(予定):展示室で舟越氏と共に作品をめくり対話を交わす。

## ギャラリートーク(観覧券が必要)

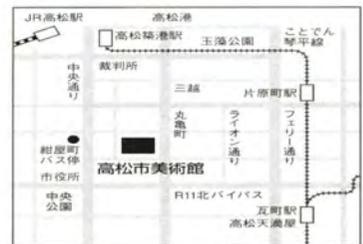
- 当館学芸員によるギャラリートーク  
 11月8日(土)午後2時より2階展示室にて
- 美術館ボランティア「civi(シヴィ)」によるギャラリートーク  
 会期中の日曜日・祝日 午前11時～午後2時～1日2回  
 2階展示室にて

## アートで遊ぼう!(鑑賞プログラム)

- 11月15日(土)午前9時30分～11時「物語をつくろう!」  
 対象:小学3～6年生

## 常設展のお知らせ

- 第4期常設展 10月25日(土)～1月12日(月・祝)  
 \*特別展のチケットでご覧いただけます。



## 交通のご案内

JR 西国-JR高松駅下車、南へ徒歩15分  
 ことでん-瓦町駅・片原町駅下車、徒歩10分  
 バス路線-紺屋町バス停下車、徒歩3分  
 駐 車 場-美術館地下に公営駐車場(有料、乗用車144台収容)